

## 第8章

# ISE 活用チュートリアル

西村憲二

ここでは、FPGA 設計に不可欠な FPGA 開発ツール「ISE WebPACK 9.1i」の使いかたを解説する。実際に行う手順を具体的に示すので、同じように操作すれば FPGA 設計を体験できる。 (編集部)

FPGA の設計には FPGA/CPLD 開発ツールが必要になります。米国 Xilinx 社の「ISE WebPACK」は、回路図/HDL 入力から論理合成、タイミング解析、論理/タイミング・シミュレーション、FPGA/CPLD への回路データの書き込みまで、FPGA/CPLD 設計に必要なひとつの機能を備えています。ここでは本ソフトウェアのインストール方法と基本操作について説明します。

バージョンアップなどに伴い、画面表示や操作が変更になる場合がありますが、基本操作を理解してさえいれば、問題なく使うことができるはずです。

## 1 ISE WebPACK のインストール

ISE WebPACK は、表1に示すパソコン環境で動作します。

### ● ISE WebPACK の入手

ISE WebPACK 9.1i は本書付属 DVD-ROM に収録されています。最新版は、Xilinx 社のホームページ (<http://www.xilinx.co.jp/>) から無償でダウンロードできます。また、Xilinx 社の代理店などから DVD-ROM で入手することもできます。

表1  
ISE WebPACK の動作環境

OS	Windows 2000 (SP2以降) Windows XP Professional Red Hat Enterprise Linux 3/4 ws (32ビット版)
ハード・ディスク	4Gバイト以上の空き容量(インストールのみ)

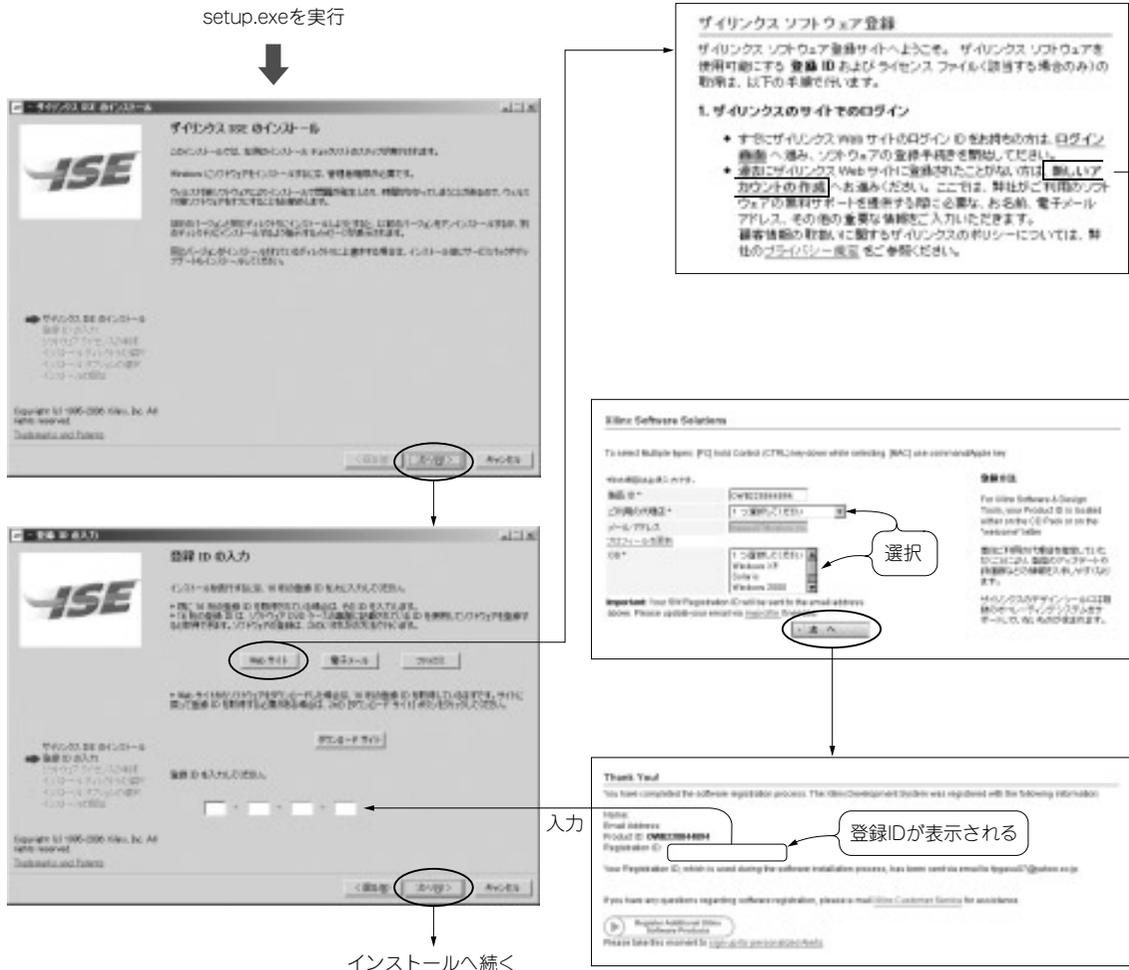


図1 ライセンス登録

● ISE WebPACKをインストールする

インストールには、Windows 2000/XPのAdministrator権限が必要になります。会社で支給されているパソコンなどで、Administrator権限がない場合は、パソコンの管理者の方に問い合わせてください。

本書に付属のDVD-ROMをパソコンのDVD-ROMドライブに挿入し、¥TOOL¥ise9liフォルダにあるsetup.exeを実行します。

1) ライセンス登録

ISE WebPACKは、無償で利用可能ですが、ライセンスを取得する必要があります。

図1のように、セットアップ開始の画面で[次へ(N)]をクリックすると、登録IDの入力画面が表示されます。ここで、[Webサイト]ボタンをクリックすると、ユーザ登録のためのWeb画面が開きます。

まず「ログイン画面」または「新しいアカウントの作成」をクリックします。サインインの画面では、まず